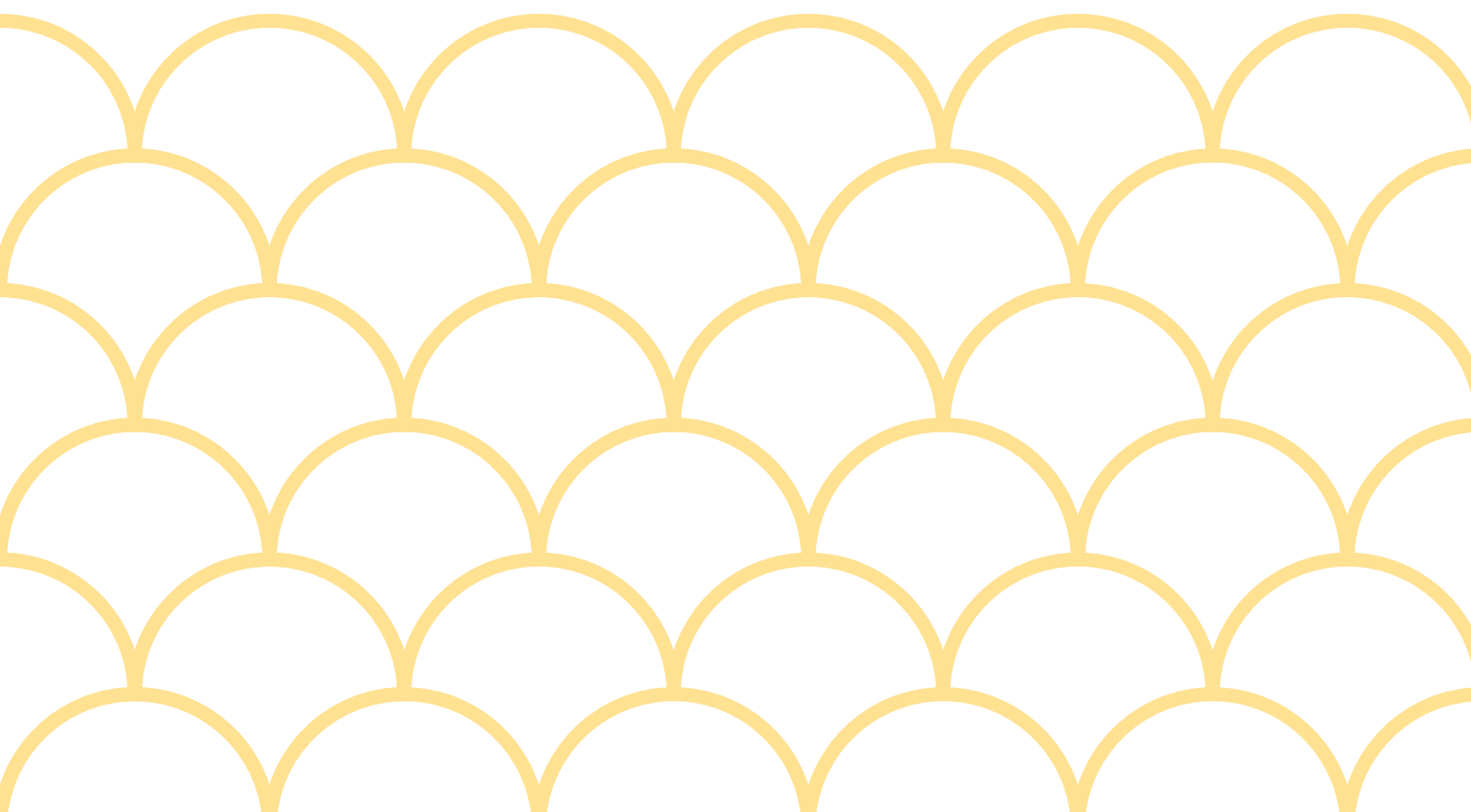


横浜市立大学基金 2025年度 活動報告



平素より格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

急速な少子高齢化の進行や物価高により、大学・病院を取り巻く状況は変化し、本学の経営状況はますます厳しい状況が続いています。自律的かつ持続可能な法人経営を実現し、YCUミッションのもと教育、研究、医療をさらに推進するため、決意をもって改革を進めているところです。このような状況の中、ご寄附をいただいた皆様におかれましては、本学への多大なるご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

本学は、2025年に産学官民連携の拠点となるオープンイノベーションラボを竣工し、同年11月に開所式を開催しました。研究交流スペースやメタバース（仮想空間）などの先端的な研究環境の整備を進めています。ここでは「メンタルヘルス研究領域」を中心とした研究・機器開発などにより学内外の研究者や企業との連携機会を広げる場として活用し、革新的な研究・開発を加速させていきます。

横浜市をはじめ国内外で貢献し、世界で活躍する優れた人材の育成や、新たな価値創造を目指した研究活動の推進、学生生活やキャンパス環境整備等を実現するためには皆様のお力添えがかかせません。

2年後の2028年には、本学は創立100周年を迎えます。市民の誇りとなる大学の存在意義を高め、横浜市民はもとより、広く国際社会に貢献する大学・病院となるよう努めてまいりますので、引き続きのご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2026年9月



近野 真一

SHINICHI KONNO

公立大学法人横浜市立大学
理事長

2025年度 実績報告

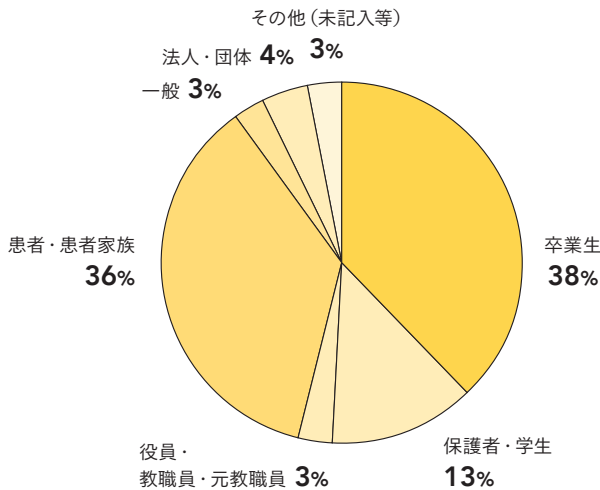
寄附の件数及び総額

寄附件数	寄附金総額
1,070件	519,109,525円

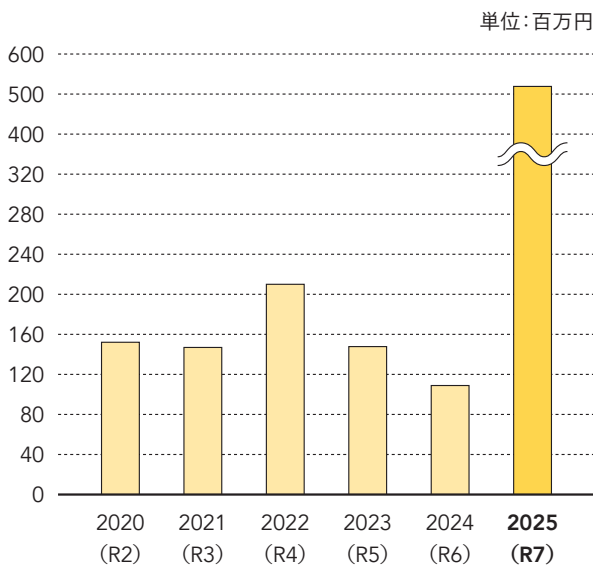
2008年度～2025年度累計：9,477件（1,814,999,649円）

寄附者の属性

卒業生からの寄附件数が最も多く、患者・患者家族や保護者をはじめ多くの方々からご支援をいただいています。



寄附金額推移



内 訳

寄附目的	件 数	寄附金額（円）
大学一任（非目的指定寄附）	377	16,281,201
ビジネス人材育成・留学支援	40	16,869,000
新たな研究創生	38	317,927,623
学生生活・環境改善	87	94,344,000
医学部・病院再整備	73	4,435,000
大学支援	4	16,000
学生支援	3	156,000
YCUシミュレーションセンター募金	22	2,050,000
YCU修学支援基金	7	270,000
YCU研究支援基金	6	6,092,000
木原生物学研究所	2	15,000
先端医科学研究センター	3	160,000
学術情報センター	12	1,632,000
附属病院	271	46,459,866
附属市民総合医療センター	125	12,186,682
古本募金	—	215,153
合 計	1,070	519,109,525

寄附金の活用

使 途	金額（円）
教育・研究支援	19,104,609
大学支援	39,349,255
学生支援	5,386,099
新型コロナウイルス対策関連	3,002,958
附属病院	17,362,141
附属市民総合医療センター	2,552,595
合 計	86,757,657

金額には、過年度の寄附金・遺贈を活用したものを含みます。
寄附金の残額は、次年度以降も活用させていただきます。



大学に一任

横浜市立大学全体を支援（非目的指定寄附金）

幅広く大学運営に活用するほか、大学の基金として積み立てて、将来に向け活用します。

寄附の活用例

● 創立100周年記念事業

○ 横浜市立大学周年史デジタルアーカイブ

「横浜市立大学周年史」編纂に係る一次資料を保存・管理・公開するため、横浜市立大学周年史デジタルアーカイブを公開しました。金沢八景キャンパスのいちょう並木や時計台、様々な建物・病院の変遷や学生生活の様子など、当時を振り返ることができる貴重な写真や、本学発行の周年事業に関わる発行物等も公開しています。横浜市立大学の歴史にまつわるたくさんの写真や資料を検索・閲覧（一部、非公開あり）いただけますので、ぜひご覧ください。

○ 関連制作物

本学の学生・教職員・卒業生・後援者の皆様に本学の魅力を伝え、横浜市立大学創立100周年に向けた機運醸成のため、さまざまな発行物を作成しました。



「The 100th anniversary is coming!」

創立100周年まであと4年と迫った2024年10月、本学の長い歴史を少しでも振り返るためのリーフレットを発行しました！



「みらいにつなぐ市大の歴史」

創立の源泉から、思わず誰かに話したくなるトピックスまで、さまざまな歴史を紹介しています。



新たな研究創生プロジェクト

世界に発信する研究の創生と研究者育成

新たな医療、そして横浜のさらなる魅力の創出に向けた研究プロジェクトを展開し、社会に還元するとともに卓越した研究を発信し続ける基盤を築きます。また、この研究プロジェクトを通じて将来を担う優れた研究者を育成するとともに、若手研究者のキャリア教育支援の一層の充実を図ります。

寄附の活用例

● 次世代研究者挑戦的研究プログラム

● 大学院都市社会文化研究科主催シリーズ企画

○ ご寄附が生んだ研究交流の広がり

寄附者の皆様のご支援を受け、学内研究者交流会におけるポスター印刷費として活用させていただきました。その結果、研究内容の可視化が進み、分野を越えた交流と新たな連携の契機を創出することができました。温かいご厚意に深く感謝申し上げますとともに、今後も研究の発展と社会への還元に努めてまいります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。





ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト

世界に羽ばたくグローバル人材育成

豊かな人間性と高い専門能力を備えた「横浜から世界へ羽ばたく」人材を育成しています。世界で活躍する優れた人材・ビジネスリーダーの輩出を更に推進するため、グローバルな視点から自らの課題をもって海外へチャレンジする学生を広く支援します。

寄附の活用例

- はまぎんGlobalChallengeプログラム
- 海外留学スタート支援事業 (IELTS受験料100名)
- NIコンサルティングチャレンジプログラム
- 卒業生によるアントレプレナー教育支援など

TOP200大学へ留学している学生への支援について

2025年度から、世界大学ランキングTOP200に位置するハイレベルな海外協定校との交流活性化に寄与するアンバサダー活動の実施を条件として、交換留学派遣学生に対する奨学金制度を開始しました。

ベルギー留学で深めた学びと、世界への発信

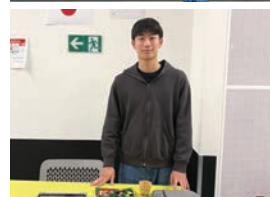
世界大学ランキングTOP200大学留学支援奨学金のご支援により、ベルギーでの交換留学中にEU政治や国際関係についての学びを深めることができました。また、留学先大学が主催する交換留学イベントに参加し、現地学生に向けて横浜市立大学や日本留学の魅力を紹介しました。日本での学びや学生生活、横浜市立大学の学習環境について発信し、日本留学への関心を高める一助となることができました。

これらの活動を通して、異文化理解を深めるとともに、国際的な環境で主体的に行動する力を養いました。このような貴重な学びと成長の機会を与えてくださった寄附者の皆様に心より感謝申し上げます。今後は留学で得た経験を社会に還元できるよう努力してまいります。

国際教養学部3年

岩村 航さん

(いわむら・わたる)



ご支援に支えられた交換留学での学びと成長

このたびは、「TOP200大学留学支援奨学金 (交換留学)」による温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。交換留学では、授業だけでなく、留学先の大学で横浜市立大学を紹介する機会にも恵まれました。大学の特色や学生生活、日本での学びについて英語で伝え、現地の学生と意見交換を行う中で、多様な価値観や文化に触れることができました。

この経験を通して、自分の考えを相手に伝える力や、異なる背景を持つ人々と協働する力が大きく成長したと感じています。このような貴重な学びと挑戦の機会を得られたのは、ご支援のおかげです。留学で得た経験を今後の学びや社会で生かし、国際社会に貢献できる人材を目指して努力してまいります。心より感謝申し上げます。

国際教養学部3年

河原崎 日菜多さん

(かわらざき・ひなた)



創立100周年記念式典

創立100周年となる2028年に記念式典開催を予定しています。詳細については随時100周年Webサイトに掲載していきますのでご覧ください。

日程：2028年6月1日（木）（創立記念日） 場所：未定

※日程変更の可能性もあります

100周年Webサイト



Event



学生生活・環境改善プロジェクト

学生のための環境整備

学生が発想豊かに学び、伸び伸びとキャンパスライフを送るための環境づくりを進めます。学修スペースや学生交流室などの設置や、老朽化した施設の更新や修繕等に活用します。

寄附の活用例

- 課外活動支援
- 冷水器の設置

Giving Campaignに初参加

全国約110大学が参加し、大学生が自身の挑戦を発信し、活動支援を呼びかけるチャリティイベントGiving Campaignに本学から6団体が参加しました。今回、Giving Campaign2025に参加し、家族や友人、OB・OGの方々に私たちの活動をより深く知っていただく良い機会となりました。投票を集めるため、SNSで毎日投稿を行い、競技の魅力や日頃の活動を積極的に発信しました。

いただいたご支援はマットの新調やコーチング費用に活用し、練習環境の向上につながりました。その結果、ここ数年出場できていなかった全国大会への出場を果たし、全国2位という成績を収めることができました。

応援団チアリーダー部 Seagulls代表

谷地 佑奈（やち・ゆうな）さん



新たに冷水器を設置

福浦キャンパス（看護棟）および八景キャンパス（グラウンド横）に、新たに冷水器を設置しました。本整備は、故障していた設備を更新し、学生が快適かつ安全に過ごせる環境を整えることを目的としたものです。新しい冷水器はタンブラーへの直接給水が可能で、衛生面や環境にも配慮しています。近年の気温上昇に伴い重要性が高まる熱中症対策として、水分補給をしやすい環境を整備することで、授業や課外活動に安心して取り組めるようになりました。

本件は寄附者の皆さまのご支援により実現したものであり、学生の健康維持と充実した学生生活の支援に役立っています。



医学部・病院再整備プロジェクト

附属2病院と医学部、医学研究施設などの再整備

医学部・病院再整備に向けて「最高水準の医療・医学研究・人材育成拠点へ～横浜の丘からみらいへ発信し続ける大学～」というビジョンを掲げました。将来にわたってヨコハマの医療発展の拠点となることを目指します。

寄附の活用例

- 海外の先進的な大学・病院等の事例調査

YCUシミュレーションセンター募金

シミュレーションセンターは、福浦キャンパス内にあるシミュレータを用いて卒前・卒後・生涯教育を行うための施設です。学生（医学科・看護学科・大学院生）、研修医、看護師などが、日々、安全で質の高い医療を提供するための訓練をしています。寄附金は高性能シミュレータの購入やセンターの整備、改修等に充当し、利用者が主体的に学び、臨床技術を磨くための環境を整えます。



寄附の活用例

- シミュレータのメンテナンスや新規購入
- 高度医療機器のメンテナンスや買い替え
- シミュレーションセンターの整備・改修

シミュレーションセンター
紹介動画



YCU修学支援基金

税額控除対象

意欲と能力があるにも関わらず、経済的理由により修学が困難な学生を支援し、教育を受けられる環境を整えるための基金です。2025年度は経済的困窮度の高い1年生86名に入学時にかかる施設整備費相当額を支給しました。



寄附の活用例

- 学生への奨学金支給
- 入学金または授業料の免除や経済的負担の軽減を図る事業
- 教育上の必要があると認めた学生等による海外への留学に係る費用の支援
- リサーチ・アシスタント及びティーチング・アシスタントに係る経費の支援

YCU研究支援基金

税額控除対象

学生や不安定な雇用状態にある研究者が安心して研究に専念できる環境を整備するための基金です。

寄附の活用例

- 研究活動に要する費用支給
- 他の研究者との交流促進にかかる費用支援
- 研究活動の成果を発表するために必要な費用（学会参加、旅費など）支援

YCU修学支援基金・YCU研究支援基金への寄附は「**税額控除**」の適用対象となります

横浜市立大学へのご寄附は税制上の優遇措置が適用されます。中でもYCU修学支援基金・YCU研究支援基金への個人の方からのご寄附については、「所得控除」に加え「税額控除」の適用対象となります。確定申告の際に、いずれかの制度をお選びいただけます。詳しくは14ページ「税制上の優遇措置」をご覧ください。

横浜市立大学附属病院

福浦キャンパスの医学部に隣接する附属病院は、横浜市唯一の「特定機能病院」であり、大学病院としての高度な医療機能を有しています。教育・研究・診療の三位一体の体制で、375万人の横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。さらに、附属市民総合医療センターと協同して多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。

寄附の活用例

- 研究材料・試薬の充実
- 診療・検査体制の充実
- 実技トレーニング環境の整備



横浜市金沢区

○ 寄附者のメッセージ

故人の人生に寄り添うような治療と診療でずっと支えていただきました。

担当してくださった先生や看護師さんのご尽力のもと、残りの時間を共に大切に過ごすことができました。

弟の命を皆様のお力で救っていただきました。限られた病院でしかできない最高の医療を、最善の方法で、迅速に行っていただきました。

患者一人ひとりに真摯に寄り添う医師が今後も数多く輩出され、医学教育および医療研究がさらに発展していくための一助となればとの願いを込めたものです。

Case 1

自動組織分散・破碎装置「gentleMACS Dissociator」一式を購入

いただいたご寄附は、呼吸器内科の研究機器の購入に活用させていただきました。呼吸器病学教室で行っている呼吸器疾患研究において、マウス臓器およびヒト肺検体を機械的にほぐし、単一細胞懸濁液を作製する目的で購入いたしました。

本装置の導入により、組織内免疫細胞を含む細胞集団の回収を安定化でき、フローサイトメトリー解析や単一細胞解析等の詳細な機能評価が可能となります。結果として、基礎実験の再現性向上と解析の高度化が期待されます。

○ 医師からのメッセージ

この度は、呼吸器内科へ心温まるご寄附を賜り、誠にありがとうございました。いただいたご寄附は、マウス臓器およびヒト肺検体を用いた当科の研究に必要な機器の購入に充てさせていただきました。これにより高度な解析が可能となり、研究の質の向上に大きく寄与しております。

今後も研究を一層推進し、呼吸器疾患の病態解明ならびに新規治療法の開発に向けて邁進して参ります。末筆ながら、ご寄附に際し賜りましたご厚意に重ねて御礼申し上げます。

呼吸器内科助教 久保 創介（くぼ・そうすけ）



Case 2

ガイドライン書籍を購入

購入したガイドライン書籍については、皮膚科学教室で診療に力を入れている膠原病のうち、全身性硬化症（強皮症）、皮膚筋炎／多発筋炎、シェーグレン症候群を対象としています。また、これらの疾患に合併しやすい間質性肺疾患や治療として用いるステロイドによって生じる副作用の骨粗鬆症の診断・治療のためのガイドライン書籍も購入しました。

○ 医師からのメッセージ

この度は皮膚科へのご寄附誠にありがとうございました。いただいたご寄附で5つの疾患に関する診療ガイドラインの書籍を購入しました。これらの診療ガイドラインを用いて、患者さんの健康回復に貢献できるように皮膚科医一丸となって患者さんの診療、そしてより良い病院づくりのために努力してまいります。

皮膚科 部長

山口 由衣（やまぐち・ゆい）



Case 3

研修で使用する備品の購入

オンライン研修をスムーズに開催するために集音スピーカーや折り畳みコンテナを購入しました。

○ 看護師からのメッセージ

この度は、看護部へのご寄付をありがとうございました。いただいたご寄附で集音スピーカーと折り畳みコンテナを購入し、看護職員の院内研修で活用させていただきました。専門職として、日々学びを積み重ね、今後も患者さん・ご家族の方へよりよい看護が提供できるよう、努めてまいります。ありがとうございました。

看護部 教育担当



Case 4

肺癌研究の試薬を購入

呼吸器病学教室のテーマの一つとして、肺癌免疫の研究を行っております。研究に使用する試薬をこの度購入させていただきました。

○ 医師からのメッセージ

この度は、呼吸器病学教室への心温まるご寄附をいただき誠にありがとうございました。いただいたご寄附で、肺癌研究に試薬を購入いたしました。引き続き研究を進め、肺癌治療の発展、患者さんの治療の向上に向けて邁進して参ります。

呼吸器内科助教 久保 創介（くぼ・そうすけ）

附属市民総合医療センター

附属市民総合医療センターは、市民の生活に密着した医療機関であると同時に市内唯一の高度救命救急センターを有する三次救急医療の拠点でもあります。附属病院とともに高度で先進的な医療や合併症など集学的治療を必要とする症例の受入れを進め、横浜市の医療の充実に貢献しています。

寄附の活用例

- 日本産科婦人科内視鏡学会・国際学会旅費の補助
- 肺癌研究における遺伝子変異検査に活用



横浜市内南区

○ 寄附者のメッセージ

先生、看護師さん等病人にかかわって下さる皆様、とても親切でした。検査やリハビリ等一つ一つ紙に書いたものを渡して下さいるので安心感がありました。病人が楽しみにしている食事とても美味しくレパトリーの多さに驚きました。この病院でお世話になって本当に良かったです。ありがとうございました。感謝!!

母が貴院を受診しております。主治医の先生には毎回母に寄り添っていただき、優しい言葉を掛けて励ましていただいております。感謝しています。また、病院スタッフの皆様にも懇切丁寧に対応してもらい、母と共に嬉しく感じております。本年も皆様のお陰で生きることが出来、歳を越せることは望外の喜びです。薄謝ではありますが、貴院に寄附をさせていただきます。

大学病院や医師の働き方改革が言われて久しいですが、財政状況も厳しいことに胸を痛めております。その様な状況の中、今月そちらで手術を受けました。担当医、看護師、検査をして下さった技師さん、手術部や臨床工学士の皆様には大変感謝しています。診察や手術に携わって下さった皆様に役立てていただければと思います。

このたびは手術で大変お世話になりました。関わって下さった先生方、看護師さんなどの温かいケアに支えられ、安心して回復できました。本当にありがとうございました。これからも皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。

娘の治療を通して、医療従事者のおかげで家族が平穏な生活を過ごすことができると感じています。



Case 1

日本産科婦人科内視鏡学会への参加費の補助

このたびは、婦人科の医療活動に対し、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。いただいたご寄附は、産婦人科領域における診療および研究の質向上を目的として、第65回日本産科婦人科内視鏡学会への参加費に充てさせていただきました。本学会では、内視鏡手術およびロボット支援手術に関する最新の知見や技術について学び、合併症対策や安全性向上に関する理解を深めることができました。これらの知見を日常診療に還元することで、より安全で質の高い医療の提供につなげていきます。

婦人科部長 浅野 涼子（あさの・りょうこ）



Case 2

国際学会旅費の補助

この度は脳神経外科への心温まるご寄附を賜り、誠にありがとうございました。いただいたご寄附を学会参加のための旅費の一部補助に使わせていただき、ブラジルサンパウロで開催された3rd Yasargil Microneurosurgical Academyへ参加し、^{ぼうあんぶずいまくしゅ}傍鞍部髄膜腫に対する手術の講演を行ってきました。

世界の一流の脳神経外科医と交流を深め、極めて有意義な討論をすることができました。ここで学んだ知見は明日からの脳神経外科診療及び脳神経外科手術技術の向上に役立て、さらに高度でQOLを重視した脳神経外科診療を提供できるよう精進して参ります。

脳神経外科部長 坂田 勝巳（さかた・かつみ）



Case 3

肺癌研究における遺伝子変異検査に活用

この度は、呼吸器病センター外科へ心温まるご寄附いただき、誠にありがとうございました。いただいたご寄附は、肺癌研究における遺伝子変異検査に活用させていただきました。当科では、肺癌の手術治療を行うとともに、肺癌に対する研究活動も行ってきました。特に、遠隔転移を来しやすい高悪性度肺癌に対する臨床病理学的解析を積極的に行ってきました。このような高悪性度肺癌の遺伝子変異を解明することは、肺癌転移メカニズムの解明に繋がり、将来的な肺癌治療成績の向上に繋がることが期待されます。

呼吸器病センター担当部長 足立 広幸（あだち・ひろゆき）



学術情報センター（図書館）

横浜市立大学には幅広い分野の資料を集めた学術情報センター（金沢八景キャンパス）と、医学系の資料に特化した医学情報センター（福浦キャンパス）のほか、各拠点に3つの図書室があります。約90万冊の蔵書と学修スペースは、学生・教職員に限らず広く一般の方にも利活用されており、地域の情報拠点となっています。



○ 電子ジャーナル価格高騰への対応

昨今の円安の影響等により価格が高騰しており、特に電子ジャーナル等の学術雑誌の価格は1990年から2020年までの30年間で1誌当たり約10倍になるなど、大学図書館を取り巻く状況は、厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、学術情報センターでは、学術情報センター支援に特化した寄附の募集を行ったところ、多くの皆様からの温かいご支援をいただき、電子ジャーナル等の購入費用に充当することができました。

○ 記念品について

ご寄附いただいた方に、学術情報センター利用の優遇制度や記念品といった特典をご用意し、大変ご好評をいただきました。2024年度にエコバックのデザインを更新しており、今後もより多くの方にご関心いただけるよう、特典内容の見直しを予定しております。

記念品（例）



オリジナルエコバック



ブックカバー（上）／図録（下）

○ YCU古本募金も学術情報センターに活用しています

横浜市立大学では読み終わった本やDVD、CD、ゲームソフトの買取額215,153円（2025年度総額）を全額横浜市立大学図書館の支援に役立てています。今年度も多くの皆様のご支援により電子ジャーナル購入に活用しました。

ありがとう
ございました。



顕彰制度

横浜市立大学をご支援くださる皆さまとのつながりを大切にするため、また、多くの皆さまによって本学が支えられていることを広く知っていただくため、累計寄附金額を基準とした顕彰制度を設けています。また、横浜市立大学基金へ一定額以上のご寄附をいただいた個人・法人・団体の皆様をお招きして「感謝の集い」を開催しております。

○ 寄附者銘板

寄附累計額が10万円以上の個人、30万円以上の法人・団体の皆さまにつきましては、寄附者銘板にご芳名を記し、未永く顕彰させていただきます。

称 号	個 人	法人・団体	色・サイズ
特別栄誉会員	5000万円以上	1億円以上	● ゴールド
栄誉会員	1000万円以上	5000万円以上	● ゴールド
特別功績会員	500万円以上	1000万円以上	● シルバー
功績会員	100万円以上	500万円以上	● ブロンズ
特別貢献会員	30万円以上	100万円以上	● ブロンズ
貢献会員	10万円以上	30万円以上	● ブロンズ

金沢八景キャンパス市大交流プラザ（いちょうの館）・附属病院2階エントランスに設置しています。



いちょうの館



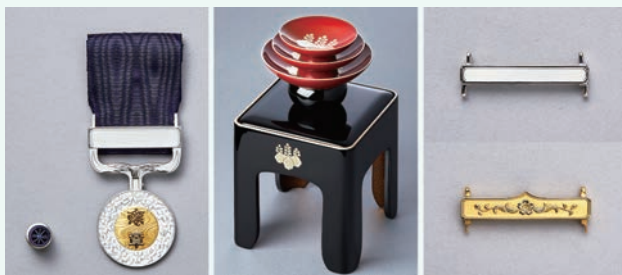
附属病院

○ 寄附者芳名録

寄附者の皆さまに感謝の気持ちを込めて、本学Webサイトにご芳名を掲載させていただきます。なお、匿名を希望された場合は掲載しておりません。

紺綬褒章

紺綬褒章は国の褒章制度のひとつで、公益のために、私財（個人は500万円以上、法人等は1,000万円以上）を寄附した方に授与されます。また、予めお申し出いただいた分納によるご寄附も含まれます。その際は、完納時点での申請となります。本学は、内閣府賞勲局より、公益のために私財をご寄附された方に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けており、寄附者様のご意向を確認のうえ、本学から文部科学省に申請（その後文部科学省を経て内閣府へ提出）いたします。



出典：内閣府ホームページ

www8.cao.go.jp/shokun/shurui-juyotaisho-hosho.html

○ 個人での受章

個人で公益のために500万円以上寄附した方には下記のとりの授与基準により、褒章（メダル）、章記、木杯が授与されます。

ご寄附の金額	授与されるもの
500万円以上	紺綬褒章、章記
1,500万円以上2,500万円未満	紺綬褒章、章記、木杯第五号
2,500万円以上5,000万円未満	紺綬褒章、章記、木杯第六号
5,000万円以上	紺綬褒章、章記、木杯第七号

○ 法人等での受章

ご寄附の金額	授与されるもの
1,000万円以上	紺綬褒章に係る褒状

遺贈による寄附のご案内 ～ 生きた証を後世に残す ～

人生の集大成として、これまで築いてきた思いとともに財産の一部を後世に託したいという方が増えています。

横浜市立大学では生きた証を後世に残すという大切なご遺志を受け継ぎ、それを実現するため金融機関と提携し「遺贈による寄附」の制度を設けています。

未来を切り拓く横浜市立大学の教育・研究・医療活動の一層の発展のため、何卒ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



遺贈による ご寄附の流れ

1 事前のご相談

横浜市立大学へ遺贈によるご寄附をお考えの方は、まずはお電話（基金担当045-787-2447）でご相談ください。

2 遺言書の作成

遺言書の作成については、信頼できる機関や専門家にご相談されることをお勧めします。ご希望がございましたら、本学にて専門機関をご紹介します。

3 遺言書の保管・管理

遺言書の保管は、ご自宅又は遺言執行者を指定している場合は、その方に遺言書を預ける方もいらっしゃいます。

4 遺言の執行

遺言者のご逝去の知らせを受けた身近な方、あるいは通知人から遺言執行者へ連絡をします。

5 本学への寄附

ご意志にしたいがい、教育研究医療活動や施設整備などに大切に活用させていただきます。

- 遺贈とは、遺言書を作成し、遺産を特定の人・団体に贈る（寄附する）ことです。
- 本学へ遺贈した財産は相続税の非課税財産になります。
- 現物資産（有価証券、土地、建物など）によるご寄附の場合、みなし譲渡所得税について非課税となります。

TOPICS & INFORMATION

PayPayでご寄附いただけます！



オンライン上の寄附方法として、クレジット、ペイジー、コンビニ決済に加え キャッシュレス決済サービス「PayPay」を導入しました。これにより、本学ウェブサイトで公開しているYCU100募金の寄附メニュー（支援先）各分野の活動に対して、自分で寄附したいメニューを選び、「PayPay」で寄附※ができるようになりました。

PayPay決済による寄附の導入は、公立大学で初の事例です。

※「PayPayマネー」のみ利用可能。寄附金額に対しての「PayPayポイント」の付与およびPayPayステップは対象外。



寄附のしかた

1 本学指定の払込取扱票によるお申込み

本学所定の振込用紙に必要事項をご記入の上、最寄りの金融機関よりお振込みください。

振込用紙をお持ちでない方は、郵送させていただきますので、お手数ですが基金担当までご連絡ください。

※その他、現金以外の有価証券、不動産等のご寄附についてもご相談を承ります。

横浜市立大学基金担当

045-787-2447

Mail: kifu@yokohama-cu.ac.jp

Web: www.yokohama-cu.ac.jp/giving/kifu/

2 Webサイトからのお申込み

横浜市立大学基金Webサイトから下記の方法でお申込みいただけます。

- クレジットカード決済
- PayPay決済
- インターネットバンキング決済
- コンビニ決済

※継続寄附（毎月・年2回・毎年）もお選びいただけます。

横浜市立大学基金Webサイト

横浜市立大学基金

検索

<https://fundexapp.jp/ycu/exp/explanation.htm>



税制上の優遇措置

個人の場合

横浜市立大学へのご寄附には税法上の優遇措置が適用されます。後日お送りする寄附金領収書を控除証明書として確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出ください。

1 所得税

所得控除

寄附金額から2,000円を引いた額を当該年の所得金額から控除できます。

税額控除（YCU修学支援基金、YCU研究支援基金のみ対象）※

寄附金額から2,000円引いた額に40%を乗じた額を、所得税額から控除できます。税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの方にとって所得控除と比較して減税効果が大きくなります。

※確定申告の際に「所得控除」と「税額控除」のいずれか一方の有利な制度をお選びいただけます。

2 住民税

寄附をした翌年1月1日時点で神奈川県または横浜市にお住まいの方は、寄附の翌年の個人住民税の控除を受けることができます。

$$\text{住民税控除額} = (\text{寄附金額}^{\text{※1}} - 2,000\text{円}) \times \text{控除率}^{\text{※2}}$$

※1 その年の総所得金額等の30%が上限

※2 横浜市以外の神奈川県市町村にお住まいの方は2%または4%、横浜市にお住まいの方は10%です。

税制上の優遇措置について
詳しくはこちら



法人の場合

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。

法人からのご寄附について

会社等法人からのご寄附については「法人用寄附申込書」をお送りいたしますので、お手数ですが基金担当までご連絡願います。

優遇措置を受ける手続き

- 確定申告の際に、本学が発行する「寄附金領収書」を添えて税務署に申告してください。（住民税の寄附金控除のみを受ける場合は、市区町村に申告してください。）
- 「寄附金領収書」は、入金方法により到着までに10日から3週間程度かかる場合がございますので、ご容赦ください。



横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

ご寄附に関するお問い合わせ先

横浜市立大学 卒業生・基金担当

045-787-2447

Mail: kifu@yokohama-cu.ac.jp

Web: www.yokohama-cu.ac.jp/giving/kifu/

